議案の紹介

今定例会に提出された議案121件のうち120議案が可決され、成立しました（8面の賛否一覧表をご参照ください）。以下、成立した議案の一部を紹介いたします（議員提出議案については、8面でご紹介しています）。

なお、平成19年度予算の審議については、6・7面の特集「予算等審査特別委員会」をご覧ください。

平成十八年度補正予算

○一般会計（主な補正予定項目）

・泉スケートリンクの設備改修に要する補助金を交付するため、五千万円を計上するもの

・後期高齢者医療制度の施行準備に要する経費として、一億円を計上するもの

条例など（主な項目）

○精神科病院に入院中の任意入院者の症状等の報告に関する条例

一定の精神科病院の管理者に対し、入院中の任意入院者の症状等を報告させることとするもの

○職員定数条例の一部を改正する条例

職員定数を百八十八人減らし、九千九百九十一人に改定するもの

○財産条例の一部を改正する条例

行政財産の無償貸付等を行える場合を改める等のもの

○市税条例の一部を改正する条例

「地方税法」による固定資産税の減額措置にあわせて行う都市計画税の減額措置を廃止するもの

○コミュニティ・センター条例の一部を改正する条例

幸町南コミュニティ・センターを設置するもの

○スポーツ施設条例の一部を改正する条例

新田東総合運動場及び茂庭庭球場を設置するとともに、全面人工芝への改修に伴い、泉総合運動場泉グラウンドの使用料を増額改定するもの

○障害者福祉センター条例の一部を改正する条例

若林障害者福祉センターを設置するもの

○知的障害者援護施設条例の一部を改正する条例

つるがや福祉作業所を廃止するもの

○私立保育施設新設等助成条例の一部を改正する条例

国において新たに「認定こども園」の制度が創設されたことから、認定こども園である幼保連携施設を構成する保育所の新設等に係る費用の助成対象者に、学校法人を加える等のもの

○都市公園条例の一部を改正する条例

海岸公園運動広場等の使用料を定め、仙台スタジアムのスタンドをサッカー等以外に使用する場合の使用料を定めるとともに、西公園野球場等を廃止するもの

○学校条例の一部を改正する条例

愛子小学校を設置する等のもの

○こども宇宙館条例を廃止する条例

こども宇宙館を廃止するもの

○工事請負契約の締結に関する件

市役所本庁舎及び議事堂耐震補強工事

○財産の取得に関する件

（仮称）仙台市立大野田第二小学校用地を取得するもの

○指定管理者の指定に関する件

仙台国際センターなどの二百二十三施設について、指定管理者を指定するもの

○事務分掌条例の一部を改正する条例

総務局の事務のうち秘書及び広報に関する事項、企画市民局の事務のうち重要施策の調整に関する事項並びに危機管理に関する事項を分掌させるため、政策調整局を設置するもの

○助役定数増加条例の一部を改正する条例

「助役」を「副市長」に改め、その定数を二人から三人に改定するもの

○市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成十九年四月一日から平成二十年三月三十一日までの間における市長等の給料月額等を減額する等のもの

人事

○仙台市監査委員の選任

須藤　裕州　佐藤　勝博

○仙台市固定資産評価審査委員会の委員の選任

鎌田　宏　武田　孫市
針生　陽子

○仙台市土地利用審査会の委員の任命

赤松　實　石坂　公一
小関　富雄　菅野　育男
木下　淑惠　木村　美智子
今野　敦之

○宮城県公安委員会の委員の推薦

中村　孝也

○人権擁護委員候補者の推薦

菅原　洋子　高橋　幸子
鈴木　千代子　門間　久美子
菅生　睦子　福原　協一
高橋　由美子　大島　眞彰
田代　ひとみ

○仙台市助役（副市長）の選任

笠原　周二　岩﨑　惠美子
奥山　惠美子

○仙台市教育委員会の委員の任命

荒井　崇

代表質疑

議案に対する各会派の代表質疑の中から主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

改革ネット仙台

田村　稔　議員

ケヤキ移植のための予算は凍結し、再検討を

問 **ケヤキ移植に約一億六千万円の多額な費用がかかり、反対意見が多い。移植と伐採の経費を市民に知らせ、本市の財政状況等も考慮しながら検討すべきであったはずだ。移植のための予算執行は凍結し、別の手法を含め再検討を求めるが、所見を伺う。**

答 市民への情報提供が十分でなく、多くの疑問や意見が寄せられており、市民の声に率直に耳を傾けなければならないと重く受け止めている。ご質問の趣旨を十分肝に銘じ、市民に改めて丁寧な情報を提供し、いただく意見を踏まえ、改めて検討し、議会に報告、相談し、的確な判断をしていく。

予算の凍結が求められる青葉通のケヤキ

庁内の組織改正について

問 **「政策調整局」新設という組織再編は、どのような目的なのか。また、これまでの行財政改革の取り組みに逆行しないのか伺う。**

答 政策調整局は、市政全般の各種施策の調整を行い、組織横断的な政策課題に迅速に対応し、的確な市民サービスのための体制作りを目的とする。人員体制も必要最小限とするなど組織の肥大化につながらないよう十分心していく。

その他の主な質疑項目

○都市ビジョンと今後の政策展開

○市有地・市有財産の処分とその有効活用

○周辺部商店街の活性化

○障害者の自立支援制度の検証を

○すこやか子育てプラン推進事業

○ガス事業の民営化

○自転車等駐車場整備

○地下鉄東西線事業の推進に向けた市長の決意

みらい仙台

熊谷　善夫　議員

ケヤキ移植の再検討を

問 **東西線建設に関わるケヤキ移植については、伐採との費用比較から市民の多くは反対している。事業凍結も含めて慎重な再検討を求めるが、市長の所見を伺う。**

答 杜の都の環境をつくる審議会で慎重な審議をし、公園などへの移植を基本とし、移植できない場合、伐採することとした。この方針に基づき、専門家の調査を踏まえ五十本すべて移植可能であると公表した。寄せられている様々な市民の意見を重く受け止め、ご指摘の点も十分に踏まえながら、今後市民に詳しい情報提供をし、議会に報告・相談をしながら、適切な判断を行いたい。

都市ビジョンの基本的な考え方について

問 **都市ビジョン策定に当たっての課題認識と、どのように政策として展開していくのかを伺う。また、本市が東北の発展を牽引するためのビジョンの意義を伺う。**

答 人口減少時代の到来など都市を取り巻く環境は劇的に変化しており、将来を見据えた都市づくりに戦略的に取り組む必要がある。その政策展開としては、今後四年間の具体の取り組みとして新しい実施計画の策定を進めたい。

また、仙台が東北地方の中枢として持続的な発展を遂げていくためにも、各自治体との連携を強化していくことが重要と考える。

東北の発展を牽引する仙台市

その他の主な質疑事項

○子育て支援と低出生率への対応

○ごみ処理有料化の検討状況

○市税等の収納率向上策

○地域生活関連整備事業

○市役所の組織の改編

フォーラム仙台

斎藤　建雄　議員

クレジットカードによる納付方法の導入について

問 **地方自治法の改正により、地方自治体の歳入について、クレジットカードでの納付が可能となった。この納付方法を本市に導入する考えはあるのか。また、導入する際の問題点は何か伺う。**

答 本市において、市民の利便性向上というメリットから、平成十九年度中にガス局と市立病院において導入を予定している。その他の企業や市長部局においては、手数料負担や適用すべき歳入科目等について検討を行う必要があり、導入時期等を見極めていきたい。

スケートリンクの再開について

問 **閉鎖されていた泉スケートリンクが「アイスリンク仙台」として再開されるが、リンクの運営を維持するための市の支援策について伺う。また、リンクは平成二十五年までの契約だが、恒久的なリンクのあり方についての検討・調査を開始すべきだ。所見を伺う。**

答 小・中学校のスケート教室の開催等を検討しているほか、民間企業への働きかけを行う等、運営に関し協力していく。また、将来的には恒久的なリンクは必要との基本認識を有しており、今後、調査・研究を進めていきたい。

「アイスリンク仙台」として3月22日に再開されたスケートリンク

その他の主な質疑項目

○施政方針

○平成十九年度予算編成方針

○行財政集中改革

○地方自治法改正に伴う諸課題

○区役所の裁量権とそのあり方

○ケヤキの移植

○ガス事業民営化

○ドキュメンタリー映画「めぐみ」

日本共産党

福島　かずえ　議員

上がる住民税の負担から市民生活を守る施策

問 **障害者控除や医療費控除などを申告すれば住民税、国民健康保険料、介護保険料の負担を軽減できることを市民に周知徹底すべき、また、国保料を軽減するために一般会計からもっと繰り入れて、値上がりを抑えていくべき。**

答 医療費控除等の諸控除や国民健康保険料等への影響については、市政だよりやホームページ等で周知しており、高齢者や低所得者等納税者の視点に立ったわかりやすい広報に努める。また、国民健康保険料については、一般会計からの繰り入れにより一定程度軽減しており、市民負担の公平の観点等から現行水準以上の繰り入れは困難と考える。

青葉通のケヤキの移植問題

問 **市民意見を聞いて進めるのであれば、予算案からケヤキの移植費用を減額する手続きを正式にとるべき。**

答 ケヤキの移植については、今議会での議論や市民の皆様に詳しい情報提供をしたうえで、いただくご意見を踏まえ、議会に報告、相談をしながら、適切に対応してまいりたい。市民のご意見はいろいろに割れており、例えば五十本全部を伐採すべきとの意見や全部を移植すべきとの意見もあることから、現在提出している予算案を撤回することは考えていない。

障害者控除対象者認定申請書

その他の主な質疑項目

○乳幼児医療費助成制度への一部負担導入はやめるべき

○障害のある方へ今年度並みの独自支援策を新年度も進めるべき

公明党

笠原　哲　議員

子育て対策を充実させ、人口減少時代に歯止めを

問 **急激な人口減少と同時に老年人口の増加と生産人口の減少は、国や社会の存立基盤に負の影響を及ぼす。本市の子育て対策の新年度予算における取り組み内容は。**

答 子育ての現状把握を踏まえ、緊急かつ重点的に取り組むべき課題等を検討し、策定した「子育て支援アクションプログラム」が、新年度予算での重点施策である。

その内容は、地域支援として、子育てふれあいプラザの二箇所増設や子育て支援室の十二箇所整備による支援拠点の確保等や、経済的支援として、乳幼児医療費助成について、通院対象年齢の拡大や所得制限緩和による対象児童の拡大等を図るものである。

国や社会を挙げた少子化・子育て対策への取り組みを

中国残留帰国者の自立対策を

問 **中国残留帰国邦人の七割が生活保護を受けている。名誉と尊厳のため自立できる体制をつくり、実態調査を進め自立への道を共に探るべきであるが、いかがか。**

答 帰国者に対する支援は基本的には国や県が実施し、本市は県からの情報で、生活保護が必要な方に対応し、中国語の通訳を配置するなど必要な支援を行ってきた。

国においては、新たに十九年度より、「地域生活支援プログラム」を実施する予定だが、本市としても、保護受給者が自立し、尊厳ある生活を送れるよう、県と連携を図りながら支援を行いたい。

その他の主な質疑項目

○行財政改革を推進しムダを排せ

○地下鉄東西線沿線の街づくりに万全を

○市営住宅の震災対策

○自動車運送事業の経営改善策

社民党

小山　勇朗　議員

高齢者保健福祉施策の充実を

問 **団塊の世代が定年を迎え高齢者が増加するが、介護施設は今後の入所希望者に対応できるのか。また、地域包括支援センターの施策充実に向けた予算化を。**

答 介護サービス施設は現在の計画に基づき平成二十年度に向け整備を行うとともに、今後実施する『サービス利用に関するニーズ調査』の結果を二十一年度以降の新たな計画に反映させるなど着実に整備を行う。また、平成十九年度は三職種が配置される地域包括支援センターの基本事業費を増額し、介護予防教室の実施に関する加算措置の拡大も図りたい。

ガス事業の民営化は市民の理解を

問 **ガス事業の民営化を本格的に進めようとしているが、市民の利益を考えるなら、なぜ民営化なのか、その必然性を市民に具体的に説明すべき。労使との協議も重要と思うが、見解を伺う。**

答 平成十七年度から庁内で民営化に向けた諸課題を検討しており、一定の熟度まで作業が進んだ。今後、有識者による検討委員会の検討や議会での議論を頂きながら広く市民合意の形成を図りたい。

また、職員への対応も民営化の意義など適切な情報の共有化に努め、職員が安心して誇りを持って職務に専念できるようにしたい。

その他の主な質疑項目

○男女共同参画推進の方針や市民協働の視点がない施政方針

○ケヤキ移植工事費の白紙撤回を

○予算編成は基金の取り崩しではなく身の丈にあった施策を

特別養護老人ホーム白東苑（太白区）